

情報処理学会 創立45周年記念DVD 2006/3/20 発売決定!

情報処理学会は、今年創立45周年を迎えました。
これを記念し、45周年記念DVDを発売いたします。

お申込は <http://www.ipsj.or.jp/04tosho/45DVD.html> から !!

収録論文 全研究会の研究報告を創刊から2004年分まですべて収録!

会誌	Vol.41 (2000年)~Vol.45 (2004年)	約1,550件
ジャーナル	Vol.41 (2000年)~Vol.45 (2004年)	約1,760件
トランザクション	Vol.41 (2000年)~Vol.45 (2004年)	約840件
研究報告(全研究会)	創刊より~2004年	約28,000件
英文誌	Vol.1 (1961年)~Vol.17 (1977年)	約310件
欧文誌	Vol.1 (1978年)~Vol.15EX (1992年)	約440件

検索 書誌情報、アブストラクトまでフリーワード検索可能!

検索ソフト対応 OS : WindowsXP / Windows2000 / MacOS X / Linux

予定販売価格

<予約特価>		価格(円)	価格(円)
個人	会員*	25,000	非会員 50,000
法人	会員**	100,000	非会員 200,000
<定価>		価格(円)	価格(円)
個人	会員*	35,000	非会員 70,000
法人	会員**	150,000	非会員 300,000

* 正会員、名誉会員、終身会員、準会員、学生会員
** 賛助会員、購読員

著者紹介

Gerhard Fischer

Dr. Gerhard Fischer (<http://l3d.cs.colorado.edu/~gerhard/>) is a Full Professor in the Department of Computer Science at the University of Colorado at Boulder, a Fellow of the Institute of Cognitive Science, and the Director of the Center for LifeLong Learning and Design (L³D) (<http://l3d.cs.colorado.edu/>). He is on the editorial boards of numerous international journals and he serves on the advisory boards of several organizations nationally and internationally. Over the last twenty years, he has collaborated with numerous academic institutions, research institutes, and corporations in Japan. Dr. Fischer's research interests and work have been focused on: (1) domain-oriented design environments, (2) critiquing systems and user modeling, (3) applications in life-long learning, and (4) assistive technologies and universal access that aid people who have various cognitive disabilities or an aging population. His interests in design have led to recent research activities in social creativity, meta-design, organizational learning, and knowledge management. Publications to these topics can be accessed at: <http://l3d.cs.colorado.edu/~gerhard/papers.html>.

Jim Kahle

IBM Corporation, IBM Fellow. Power アーキテクチャのコンセプト段階から設計にかかわり、PowerPC603 のプロジェクトマネージャ、Power4 コアのチーフアーキテクトを経て、Cell アーキテクチャのチーフアーキテクト。

Kathirgamar Aingaran

Sun Microsystems 社上級スタッフエンジニア。Niagara 開発チームの一員。主な研究分野は低電力で単純な計算機アーキテクチャ。Stanford University 修士、University of Southern California 学士 (いずれも専門は電気工学)。IEEE 会員。

Kunle Olukotun

Stanford University 電気工学/コンピュータ科学準教授。専門は、コンピュータアーキテクチャ、並列プログラミング環境、およびハードウェアの形式的検証。University of Michigan コンピュータ理工学博士 (PhD)。IEEE、ACM 各会員。

Poonacha Kongetira

Sun Microsystems 社エンジニアリングディレクタ。Niagara プロセッサ開発チームの一員。主な研究分野はコンピュータアーキテクチャ、SoC デザインの方法論。Purdue University 修士、Birla Institute of Technology and Science 学士 (いずれも専門は電気工学)。IEEE 会員。

安生健一朗

1998 年慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了。2005 年同大工学博士。1998 年より日本電気 (株) シリコンシステム研究所勤務。1999 年ルーセントベル研究所訪問研究員。現在、NEC エレクトロニクス (株) 勤務。システム LSI の開発に従事。

伊澤 義貴

2000 年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年、日本電気 (株) 入社。現在、NEC エレクトロニクス (株) 通信システム事

業部にて DRP のバックエンド設計に従事。

石塚 満 (正会員)

1971 年東京大学・工・電子卒業。1976 年同大学院博士修了。同年 NTT 入社。横須賀研究所勤務。1978 年東京大学生産技術研究所助教授 (1980～81 年 Purdue 大学客員準教授)。1992 年東京大学・工・電子情報・教授。2001 年情報理工学系研究科電子情報学専攻。2005 年同創造情報学専攻 (電子情報学専攻兼任)。研究分野は人工知能、生命的エージェントによるマルチモーダルメディア、Web インテリジェンス、次世代 Web 情報基盤。IEEE、AAAI、人工知能学会 (現在、会長)、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、画像電子学会等各会員。

井上 弘士 (正会員)

昭和 46 年生。平成 13 年九州大学大学院システム情報科学研究科博士後期課程修了。同年福岡大学工学部助手。平成 16 年九州大学大学院システム情報科学研究科助教授。プロセッサ/メモリアーキテクチャに関する研究に従事。

大津 金光 (正会員)

1995 年東京大学大学院修士課程修了。1997 年同大学院博士課程退学。同年より宇都宮大学工学部助手となり現在に至る。高性能計算システムに関すること、特にマルチスレッドアーキテクチャ、バイナリ変換処理、実行時最適化等に興味を持つ。

大堀 淳 (正会員)

1981 年東京大学文学部哲学科卒業。1989 年ペンシルバニア大学計算機科学科博士課程修了。Ph.D. 1981 年沖電気入社。京都大学数理解析研究所助教授、北陸先端科学技術大学院大学教授などを経て、現在東北大学電気通信研究所教授。プログラミング言語に興味を持つ。

五島 正裕 (正会員)

1968 年生。1992 年京都大学工学部情報工学科卒業。1994 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年より日本学術振興会特別研究員。1996 年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程退学。同年より同大工学部助手。1998 年同大学院情報科学研究科助手。2005 年東京大学情報理工学系研究科電子情報学専攻助教授。計算機システムの研究に従事。2001 年本会山下記念研究賞、2002 年本会論文賞受賞。IEEE 会員。

近藤 弘都

1986 年京都大学理学部卒業。同年三菱電機入社。2003 年よりルネサステクノロジ。マイクロプロセッサの研究開発に従事。

坂井 修一 (正会員)

1981 年東京大学卒業。1986 年同大学院修了。工学博士。電子技術総合研究所、MIT、筑波大学などを経て、1998 年東京大学助教授。2001 年同教授。計算機システムとその応用の研究に従事。

佐々木僚子

1999 年日本電気 (株) C&C LSI 開発本部入社。2002 年 NEC エレクトロニクス システム ULSI 開発本部へ転籍。現在、同社通信システム事業部にて、DRP の製品開発に従事。

佐藤 寿倫 (正会員)

平成 3 年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同年 (株) 東芝入社。平成 11 年より九州工業大学情報工学部助教授。博士 (工学)。平成 11 年度本会論文賞、平成 15 年度山下記念研究賞各受賞。

清水 徹

1986 年東京大学大学院理学系研究科情報科学専門課程修了。同年三菱電機 LSI 研究所入社。2003 年よりルネサステクノロジ。組込みマイクロプロセッサ、マイコン、各種 IP の開発に従事。理学博士。

鈴置 雅一

(株) ソニー・コンピュータエンタテインメント半導体開発本部、副本部長。1987 年ソニー (株) に入社。プレイステーション事業立ち上げを経て、1993 年 (株) ソニー・コンピュータエンタテインメント設立時より同社在籍。2002 年より米国 Cell 開発拠点にて開発の指揮を執る。

田口 元

1 日 1 社、海外のユニークなドットコムサイトを紹介するサイト『百式』を主宰。海外インターネットビジネスに関するコンサルティング、講演、著書等実績多数。

戸川 勝巳

2001 年九州大学大学院システム情報科学研究科修士課程修了。同年より日本電気 (株) シリコンシステム研究所勤務。現在、NEC エレクトロニクス (株) 勤務。システム LSI の開発に従事。

中谷 純

神戸大学医学部 CGI センタ助教授、東京医科歯科大学客員助教授。1985 年北海道大学工学部卒業。同大学院修了 (工学修士)。IBM、1995 年同大医学部卒業 (医師、医学博士)。MIT EDP 修了。東京大学医科研先端医療研究センター。

西山 博泰 (正会員)

1993 年筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。(株) 日立製作所システム開発研究所主任研究員。最適化を中心とした言語処理系の研究に従事。ACM、IEEE 各会員。E-mail: nisiyama@sdl.hitachi.co.jp

長谷川 淳 (正会員)

1979 年電気通信大学電子計算機学科卒業。同年日立青楓電子 (現在の日立超 LSI システムズ) 入社。マイコンシステム設計、LSI 特にマイコン、CPU コアの開発に従事。2004 年よりルネサステクノロジ。

服部 俊洋 (正会員)

1985 年京都大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。同年日立製作所中央研究所入社。LSI—CAD 研究に従事。2003 年よりルネサステクノロジにて CPU コア開発に従事。

藤井 太郎

1997 年東京工業大学情報理工学研究科修士卒業。同年、日本電気 (株) に入社しマイクロエレクトロニクス研究所に所属。2002 年 NEC エレクトロニクス (株) へ転籍。入社以来、動的再構成 LSI の研究開発に従事。

藤崎哲之助

工学博士。1970年東京大学計数工学科卒業。1972年同大工学系大学院卒業。2000年コロンビア大学MBA卒業。1972年日本IBMサイエンティフィック・センター入社。1987年米国IBM T. J. ワトソン研究所入社。2002年よりコロボ・テクノロジー（株）代表取締役社長。
E-mail:tetsu.fujisaki@attglobal.net

古田浩一郎

1987年日本電気（株）入社。1997年より日本電気（株）にて動的再構成プロセッサの研究開発に従事。2002年よりNECエレクトロニクス（株）にて動的再構成プロセッサの製品開発に従事。

増淵 美生（正会員）

（株）東芝セミコンダクター社ブロードバンドシステムLSI開発センター、センター長附。1983年入社以来マイクロプロセッサおよび計算機システムの研究開発に従事。2002年より米国Cell開発拠点にて東芝リーダを務める。

箕浦 大祐（正会員）

1995年東京工業大学大学院修士課程修了。同年NTT入社。持株会社研究所にて多地点映

像音声コミュニケーションシステムの研究開発に従事した後、NTT東日本にて前記研究成果を商品化、インターネット会議システムとして販売する企業内起業を牽引。NTT東日本から派遣され、英国ケンブリッジ大学大学院MBAコース修了（予定）。博士（工学）。

本村 真人

1987年京都大学理学部理学研究科修士課程修了。同年、日本電気（株）に入社し、以降DRPを含むシステムLSIの研究開発・製品開発に従事（2002年NECエレクトロニクス（株）に転籍）。1996年京都大学工学博士。

矢野 直明

サイバーリテラシー研究所代表。編集者（ジャーナリスト）。朝日新聞出版局で「ASAHIパソコン」、「DOORS」などの雑誌を創刊。著書「インターネット術語集I、II」、「サイバーリテラシー」、「情報編集の技術」など。

矢部 義一

1994年東北大学大学院情報工学科修士課程を卒業。同年、日本電気（株）に入社しマイクロエレクトロニクス研究所に所属。2002年NECエレクトロニクス（株）に転籍。DRP開発ではバックエンド設計を担当。

山崎 竹視（正会員）

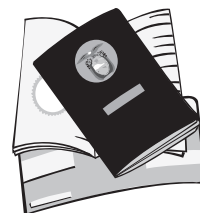
1973年慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程修了。日本電気（株）を経て、富士ゼロックス（株）に入社しSmalltalk80処理系研究開発に従事。現在は、遠隔協業における周辺参加の支援とその効果に興味を持っている。同社研究本部フェロー。

山下 伸夫（正会員）

1995年東京大学大学院工学系研究科情報工学修士課程修了。1995～2000年NTTエレクトロニクス（株）。2000年～現在（株）タイムインターメディア。

山田 順也（正会員）

1999年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科修士課程修了。同年、日本電気（株）シリコンシステム研究所入社。2002年よりNECエレクトロニクス（株）にて動的再構成プロセッサの研究開発に従事。



Advanced Information Technology シリーズ 情報処理学会編集

◎最新刊

Advanced Information Technology Spoken Language Systems

A Series Edited by Tadao Saito

Edited by Seiichi Nakagawa, Michio Okada and Tatsuya Kawahara

16cm×24cm判／320頁／本体9,500円（税別） 2005年8月発行

◎好評既刊

Advanced Information Technology Communication and Collaboration Support Systems

A Series Edited by Tadao Saito

Edited by Kenichi Okada, Tohru Hoshi and Tomoo Inoue

16cm×24cm判／312頁／本体9,500円（税別） 2005年7月発行

Advanced Information Technology Gigabit Network

Edited by Tadao Saito and Hiroshi Esaki

16cm×24cm判／161頁／本体9,500円（税別） 2003年9月発行



 **オーム社**
Ohmsha

101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0641 FAX 03(3293)6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格（税別）は変更する場合があります。

平成 17 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は表彰対象の 19 研究会の主査から推薦された計 28 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、第 510 回理事会（平成 17 年 7 月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記 28 君で、それぞれ研究発表会、またはシンポジウムにおいて表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

[コンピュータサイエンス領域]

- **Java アプリケーションの要求仕様とセキュリティポリシーのトレードオフ分析**
[2003-SE-142 (2003.5.30)] (ソフトウェア工学研究会)
海谷治彦君 (正会員)
- **プログラムスライスをを用いたアスペクト指向プログラムのデバッグ支援環境**
[オブジェクト指向シンポジウム (2003.8.21)] (ソフトウェア工学研究会)
石尾 隆君 (学生会員)
- **プリフェッチ機能付きメモリモジュールによる不連続アクセスの連続化**
[2004-ARC-157 (2004.3.2)] (計算機アーキテクチャ研究会)
田邊 昇君 (正会員)
- **高性能マイクロプロセッサシミュレータの時分割並列処理による高速化**
[2005-ARC-161 (2005.1.21)] (計算機アーキテクチャ研究会)
高崎 透君 (正会員)
- **例外依存関係を越える部分冗長性除去**
[(2004.7.30)] (プログラミング研究会)
大平 怜君 (正会員)
- **類似テキスト検索のための多重トピックテキストモデル**
[2003-MPS-44 (2003.5.9)] (数理モデル化と問題解決研究会)
上田修功君 (正会員)
- **単目的最適化問題における多目的化とその有効性**
[2005-MPS-53 (2005.3.9)] (数理モデル化と問題解決研究会)
渡邊真也君 (正会員)
- **ユビキタスサービスのためのエージェントプラットフォームの提案**
[2004-DPS-120 (2004.11.4)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
西山 智君 (正会員)
- **ポリゴン間のプライオリティ決定のための円環型データ構造**
[2005-CG-118 (2005.2.7)] (グラフィクスと CAD 研究会)
福重真一君 (学生会員)
- **マルチバンドカメラを用いた油彩画の計測とレンダリング**
[Visual Computing グラフィクスと CAD 合同シンポジウム 2003 (2003.6.20)] (グラフィクスと CAD 研究会)
田中法博君 (正会員)
- **六の膳：お皿に写真を投影するシステムによる食卓コミュニケーション支援**
[2004-GN-51 (2004.3.19)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
天野健太君 (正会員)
- **書籍販売サイト bk1 におけるレコメンドエンジン Awareness-Net の導入効果**
[2005-GN-55 (2005.3.18)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
市川裕介君 (正会員)
- **高フレームレート映像信号に対する符号化特性解析**
[2005-AVM-48 (2005.3.10)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)
坂東幸浩君 (正会員)
- **アドホックネットワークにおいてスマートアンテナを利用した MAC プロトコルの特性評価**
[2004-MBL-28 (2004.3.4)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
高田昌忠君 (学生会員)
- **大規模モバイルネットワークのための分散型マイクロモビリティに関する検討**
[2004-MBL-29 (2004.5.14)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
横田英俊君 (正会員)
- **ルータクラスタにおける二重パケット処理冗長方式**
[2004-QAI-13 (2004.10.28)] (高品質インターネット研究会)
狩野秀一君 (正会員)
- **ユビキタス情報環境における履歴を用いた機器操作支援手法**
[2004-UBI-4 (2004.4.23)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
河口信夫君 (正会員)

[情報環境領域]

- **Concurrency Control for Distributed Objects using Role Ordering (RO) Scheduler**
[マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(2004.12.1)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
榎戸智也君 (正会員)

[フロンティア領域]

- 自動生成した言い換え文における動詞結合価値誤りの自動検出手法
[2003-NL-156 (2003.7.25)] (自然言語処理研究会)
藤田 篤君 (正会員)
- 文脈一貫性を利用した極性付評価表現の語彙獲得
[2004-NL-162 (2004.7.16)] (自然言語処理研究会)
那須川哲哉君 (正会員)
- ネットワーク外部性の働く製品市場のモデル化とプレゼント戦略評価
[2004-ICS-135 (2004.3.15)] (知能と複雑系研究会)
辻 将之君 (正会員)
- 2次元同時サブピクセル推定法の Bayer 配列への適用と超解像への応用
[2003-CVIM-140 (2003.9.8)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
清水雅夫君 (正会員)
- 大型有形文化財計測のための気球搭載型レンジセンサ
[2005-CVIM-148 (2005.3.4)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
阪野貴彦君 (学生会員)

- 小学校におけるプログラミング活用の現状と課題
[2005-CE-78 (2005.2.18)] (コンピュータと教育研究会)
佐藤和浩君 (準会員)
- proGrep - プログラミング学習履歴検索システム
[2005-CE-78 (2005.2.18)] (コンピュータと教育研究会)
長 慎也君 (正会員)
- 錦絵資料の測色値画像データベースの構築と色彩分析の試み
[じんもんこん 2004 シンポジウム (2004.12.9)] (人文科学とコンピュータ研究会)
鈴木卓治君 (正会員)
- ハーモニック・クラスタリングによる多重音信号音高抽出における音源数とオクターブ位置推定
[2003-MUS-51 (2003.8.5)] (音楽情報科学研究会)
亀岡弘和君 (学生会員)
- 将棋熟達者の発話にみる思考と認知
[2004-GI-12 (2004.6.18)] (ゲーム情報学研究会)
伊藤毅志君 (正会員)



おはいすらん



ある月曜日の朝のことです。

その日は朝から雨が降り、その上気温、湿度ともに高く、外出するには最悪の天気でした。子供を保育園に送り迎えしている私にとって、雨の日と月曜日とはとても憂鬱になります。理由は、荷物が多く、通勤が大変だからです。

その日も背中に保育園の荷物の入ったリュックを背負い、右手には鞆2つと傘、左手には1歳半になる娘、肩にはベビーカーという、体中モノだらけのスタイルで電車に乗ろうとしていました。ところがその日に限って電車の到着が大幅に遅れ、私の乗った女性専用車両も満員状態でした。その上、すし詰めの車内は人の熱気で蒸し暑さのピークに達し、立っただけで汗が噴き出していきます。当然その窮屈な状態に子供が耐えられるわけもなく、突然大声で騒ぎ始めました。何とかその状況から逃れようと、私の腕の中でもがくのです。シーンとした車内に響き渡る娘の泣き声。しかし、暴れる娘を抑えることはもはや不可能で、近くの乗客にも攻撃がおよびそうになりました。

「すみません、すみません・・・」と謝りながら周りを見ると、乗客の方の顔が笑顔になっているではありませんか。「大丈夫ですよ」「窮屈だもんね」そんな声が聞こえ、思い込みかもし

れませんが、「大変なのは分かりますよ」という空気が周囲に漂っているのを感じました。女性同士の連帯感のようなものを感じ、その時はいたく感動しました。

どうにか電車が駅に到着し、人々が車内から押し出された後、後ろから「大変でしたね」と声をかけてくれる人もいれば、「(子供の)靴が落ちましたよ!」と教えてくれる人もいました。慌てて振り返ると、今度は別の人が靴を持ってきてくれました。

些細な出来事ではありますが、子供の誕生とともにこのようなちょっとした幸せをたくさん感じるようになりました。

今でもよく車内で席を譲ってもらいます。また、「ここに荷物を置いたらいいよ」と車内でスペースを空けてくれる男性もいれば、「ベビーカーを持ちますよ」と声をかけてくれる女性や若いカップルもいます。これまで受けた親切は数え切れません。

嫌なニュースも多いこの頃ですが、世の中素敵な人もたくさんいるということに気づくことができたのも子供のおかげ。振り回されっぱなしの毎日ですが、少しくらい大目に見るかと思う今日この頃です。

(成田さおり/規格部門)

訂 正

本誌 46 巻 10 号 (2005 年 10 月号) p.1102 の図 -1 「スーパースカラプロセッサの基本構成³⁾」内に誤りがありました。お詫びして以下の通り訂正いたします。

(誤) フィッチ

(正) フェッチ

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、8月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「WIDE プロジェクトと最新インターネット技術研究動向」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■WIDEの活動内容をよく理解できる特集だったと思います。SOI-ASIAで行っている双方向リアルタイム授業や講義マテリアルの配信について具体的な特集を組んで欲しいと思います。また、Mobile IPv6についてもまとめられており理解しやすかったのですが、IPv6を用いたアドホックネットワークについて具体的な活動内容にもっと大きく紙面を取ってみたいと思いました。また他のことでは、IPv6環境下でのマルチキャスト技術であるXCASTについての特集なども組んでいただきたいと思います。あと、SIP機器は、異なるベンダ間でのインタオペラビリティが大きな問題となっていますが、RFCとして決まっているにもかかわらず、どのような背景を経てこのような現状となっているのかについて具体的に知りたく思いました。(平島大志郎)

■これまで関心が薄かったインターネットに関する数々の先進的研究が日本でも行われてきており、国内のみでなく国際的な貢献をされていることを知った。敬意を表したい。(竹下 亨)

■WIDEプロジェクトの最新動向を把握することができ、とても参考になりました。それにしても、IPv6は、宣伝されている割に、大学はともかくとして一般の社会では普及していないようです。IPv6の魅力を生社会全体に向けて発信する必要性を痛感しています。(水野光朗)

■JUNETがスタートしてもう20年も経っているというのには改めて感心する。私はインターネットを使い始めて10年くらいしか経っていないが、それでも、爆発的に広がるインターネットの時代を体験できたのは面白かった。この先の10年間も人を感動させるようなインターネットの変化は続いて欲しいと思う。(匿名希望)

■関心を持って読ませていただきましたが、全体の印象として本記事は内容からみてネットワーク専門家を対象にしたもので、一般会員を対象にした学会誌向きではないように感じられました。理由は以下の通りです。1)ネットワーク技術固有の略語や技術用語が当然の常識として説明なく用いられており、ネットワーク専門家以外では本当の理解が困難と思われます。これらの使用を極力やめ、略語の適当な説明が必要と思われます。特集の場合は個々の記事ではなく、まとめて最後にこれらの説明の記事を設けてもよいのではないのでしょうか。2)技術が成熟期になると研究課題はますます局所的、専門的になって来ますので、そのままでは非専門家の理解が困難です。したがって、もしそれについて説明するならば、枝葉的な事項や説明書的な詳細な説明は省略して、学会誌ですからむしろ原理的・基本的な考え方などを述べていただくと理解が得やすいと思われます。(匿名希望)

※1)と同様のご意見を片山聡一郎様、他1名よりいただきました。

解説「空間分割を用いた識別と非線形写像の学習(1)空間分割による最近傍識別の高速化」につきましては、以下のご意見をいただきました。

■最近傍識別器の特徴、利点、欠点が分かりやすく示されており、非常に興味深く読ませていただいた。また、その他の手法についてもよくまとまっており、その分野への導入としても役立った。(匿名希望)

■大変興味深く読ませていただきました。すでに多くの研究がなされているこの分野にこのような方法があることを再認識させられました。(匿名希望)

解説「世界の文字と文字符号(前編)」につきましては、以下のご意見をいただきました。

■興味深く拝見いたしました。世界に6,000~7,000の言語があるとは知りませんでした。それらを体系化し、符号化し、情報通信機器で扱えるようにすることは、地味ではありますが、画期的な大仕事であったと思われます。膨大な資料が細かく分析・整理され、よくまとめられていて、多くの読者を啓蒙するのに役立っているでしょう。(竹下 亨)

■ウルドゥー語の文字については、論考で論及されているとおり、リガチャに関するデジタルデータ整備によりやく完成のめどがつかれました。日本語の楷書と草書同様に、タイプライタ書体と手書き風書体の「住み分け」が行われつつあります。(水野光朗)

連載「Webサービス:Webサービスの将来」につきましては、以下のご意見をいただきました。

■Webサービスの現状を非常によく網羅してあり、分かりやすくまとめられていると思います。非常に興味深く読ませていただきました。(平島大志郎)

■Webについて、継続的にその動向を連載していただき、大変参考になりました。最後の回でも、必ずしも利点のみに視点を当てるのではなく、負の面からの視点も含めた総合的な解説をいただき、とてもよい連載だったのではないのでしょうか。今後もこのような連載を組んでいただくことを期待いたします。(濱 久人)

■最終回として、要領よく、格調高くまとめてくださったと思います。新技術や新製品は「当たり前になった」が「それほど大したものではないことが分かった」などの場合、あまり話題にならなくなります。Webサービスもそのような状況にあるかも知れないと感じておりましたが、まだまだ未解決の多くの問題があり、これからも既存技術と共存し発展を続ける重要技術であるという印象を受けました。(竹下 亨)

コラム「アメリカITまわりの話題:米国流通販売生活」につきましては、以下のご意見をいただきました。

■情報システムは使う人間や組織や文化により、いかようにも左右されるということの非常によい実例だと思います。(平島大志郎)

■今号の「欧州のIT技術とビジネス」と「アメリカITまわりの話題」はどちらも顧客サービスに関する話題でしたが、これらを読んでみて日本の企業がサービスレベル向上のためにとても企業努力していることを改めて感じました。(片山聡一郎)

■Amazonが配送料定額サービスを始めたというニュースを見たときには、何の意味があるのだろうと疑問に思っていたが、本記

事を読んで背景に米国の通関事情があることを知ることができた。Amazonのような企業に対しては、日本国内だけを見ては分からない点があるのだということを教えられ大変参考になった。

(匿名希望)

■面白かった。オンラインショッピングでキャンセルするのに手間がかかることで解約率を下げようとする米国流のやり方は企業の立場からは理解できるものの、消費者の立場からは納得できないと感じた。

(匿名希望)

■欧米と日本のIT利用の方法比較がそれぞれのコラムから読み取られて、興味深かった。

(匿名希望)

コラム「日本のIT事情事故車に乗り合わせた2人の運転士はなぜ早々と現場を離れたか」につきましては、以下のご意見をいただきました。

■サイバーリテラシーと情報倫理について非常に共感します。携帯電話の普及に関しても、システムとして解消できる部分はほんの一部であり、システムを使用する際の人間の倫理的部分は、これからなおさらに考えて、教育や法整備など先を読んだ対応をしていく必要があると思われます。

(平島大志郎)

■倫理(学)と法(学)を混同した議論であり、違和感を覚えました。とりわけ、裁判所の判決を倫理の次元で議論することは、避けたほうがよいと思います。

(水野光朗)

■確かにネットや携帯で気軽に情報を得られるようになったがために起こってきた弊害というものがあると思います。弊害なしでの良薬などないのだということを肝に銘じたいと思います。(高田雅美)

■現代社会の便利なシステムによりかえってモラルハザードが生じていることが指摘されていましたが、この文章を読んで、自分も思い当たるふしがあると感じた人は多いのではないかと思います。文章ではケータイによる影響が取り上げられていましたが、私は会議や学会において理由もなく開かれているノートパソコンというのは、本人の意識の持ちようによっては、真剣な参加を妨げるツールとなってしまうのではないかと思います。

(片山聡一郎)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■コラム「情報技術と医療：医療IT業界の台所事情」に関心を持って読ませていただきました。日頃身近にない分野ですので、情報技術が具体的に人に活きている医療現場についての現状の特集を

組んでみるのもよいのではないのでしょうか？ (平島大志郎)

■コラム「20世紀の名著論：Richard Dawkins: The Selfish Gene」は、邦訳が1991年に出ています。邦訳のあるものは、邦題もあわせて紹介していただければ、と思います。ただ、邦訳といっても、特に、テクニカル・タームについて誤訳が散見されるものもあるので、そうしたものについては、「この邦訳には、誤訳が多い」とはつきり断言してほしいとも思います。

(水野光朗)

■益田先生のお書きになった「学生諸君！ IPSJ Digital Courierに挑戦しよう」を大変心強く拝見いたしました。投稿者に奨励賞がいただけることは励みになります。それはそれとして、基本的に大学院生の英語力が低下していることが気がかりです。少しでも英語の論文を書けるようにするために、前にも提案したことがありますが、「英論文の書き方講座」でも本誌に連載されてはいかがでしょう？ 絶えず、少しずつでも刺激されるように。

(竹下 亨)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■最近、学生の間で、mixi(ミクシィ)というポータルサイト(?)が流行しています。mixiについて取り上げてほしいと思います。

(水野光朗)

■RFIDに関する記事などを、もっと読んでみたいと思います。

(匿名希望)

■現在、Haskell言語を使用したプログラミングが連載されていますが、この言語は従来の言語とかなり違った記法を用いていますので、その違いを重点に言語自体の説明の連載を希望します。

(匿名希望)

■今回の総選挙など日本社会を支える情報システムについて。

(片山聡一郎)

■興味があるのは、ITの普及に伴う病理の問題についてである。日本のオフィスでは、PCが1人1台ペースで導入され、それによって人と会話をすることが極端に減ったことからなる若年性健忘症などが報じられている。欧米では、どのような形でITツールが用いられているのだろうか？ 日本とどこが違うのだろうか？ オフィススペースの問題？ 文化の問題？ そんなことに興味を覚える。(匿名希望)

【本誌担当 伊藤敏彦、佐藤浩史/書評・ニュース分野】

今月はこのほかにも数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合上すべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4611.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記Webページにも掲載しております。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ユビキタス社会を支えるコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-j.html	11月25日(金)		
	平成17年度情報処理学会業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/h17boshu.html	12月9日(金)		
2005年				
11月14日(月) ~ 11月15日(火)	第125回マルチメディア通信と分散処理研究会(DPS), 第29回電子化知的財産・社会基盤研究会(EIP) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS125EIP29.html	9月9日(金)	当日のみ	東京電機大学(神田キャンパス)
11月16日(水)	東海支部講演会「情報セキュリティ対策の方法と課題」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		定員になり次第参加無料	名古屋大学東山キャンパス
11月17日(木) ~ 11月18日(金)	第151回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM151.html	8月31日(水)	当日のみ	和歌山大学生涯学習教育研究センター(松下会館)
11月17日(木) ~ 11月18日(金)	第35回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第23回高度交通システム・第12回放送コンピューティング研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MBL35ITS23.html	9月9日(金)	当日のみ	香川大学幸町キャンパス
11月17日(木) ~ 11月18日(金)	第116回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI116.html	9月16日(金)	当日のみ	高知グリーン会館
11月18日(金)	第94回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS94.html	8月26日(金)	当日のみ	鳥取環境大学学生センター
11月18日(金) ~ 11月19日(土)	第121回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CG121.html	9月23日(金)	当日のみ	立命館大学
11月18日(金) ~ 11月20日(日)	第10回ゲームプログラミングワークショップ2005(GPW-05) http://minerva.cs.uec.ac.jp/~ta-ito/GPW05/top.htm	7月20日(水)	11月5日(土)	箱根セミナーハウス
11月21日(月) ~ 11月22日(火)	第170回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL170.html	8月31日(水)	当日のみ	岡山大学
11月21日(月) ~ 11月22日(火)	データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム(DBWeb2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBWeb2005.html	9月9日(金)		日本科学未来館
11月22日(火)	第15回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA15.html	9月22日(木)	当日のみ	京都大学学術情報メディアセンター
11月25日(金)	デジタル・ドキュメント・シンポジウム2005-ユビキタス社会におけるデジタルドキュメントの役割と展望- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-DD2005.html		11月18日(金) 当日可	トッパンフォームズ(株)
11月25日(金)	連続セミナー2005第5回「組み込みソフト開発事例(組み込みOS系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F丹羽ホール
11月28日(月)	連続セミナー2005第6回「組み込みソフト開発事例(ユビキタス系)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2005/index.html		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス7号館1F丹羽ホール
11月29日(火)	第150回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SE150.html	9月30日(金)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
11月29日(火) ~ 11月30日(水)	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ComSys2005.html	7月22日(金)	11月15日(火)	筑波大学
11月30日(水) ~ 12月1日(木)	第157回計算機アーキテクチャ研究発表会(デザインガイア2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC157.html	9月20日(火)	当日のみ	北九州国際会議場
11月30日(水) ~ 12月2日(金)	第122回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM122.html		当日のみ	北九州国際会議場
11月30日(水) ~ 12月2日(金)	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ http://www.takilab.k.dendai.ac.jp/dpsws13/	9月8日(木)	10月25日(火)	パシフィックホテル沖縄
12月1日(木) ~ 12月2日(金)	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2005 http://www.musashi.jp/dsm10/	9月1日(木)		武蔵大学80周年記念ホール
12月7日(水)	東海支部講演会「天文学とインターネット」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料	東桜会館(名古屋市)
12月9日(金)	第31回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CSEC31.html	10月10日(月)	当日のみ	中央大学後楽園キャンパス
12月10日(土)	第82回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE82.html	10月24日(月)	当日のみ	鹿児島大学学術情報基盤センター
12月12日(月) ~ 12月13日(火)	第51回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/society51.html	10月17日(月)	当日のみ	北海道大学, 名古屋大学他
12月16日(金) ~ 12月17日(土)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2005」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-CH2005.html	9月16日(金)	定員になり次第	東京大学本郷キャンパス
12月17日(土)	第2回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EC2.html		当日のみ	東京大学 柏キャンパス
12月21日(水)	第1回教育学習支援情報システム研究グループ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CMS1.html	10月25日(火)		大阪大学中之島センター
12月21日(水) ~ 12月22日(木)	第59回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP59.html	10月14日(金)	当日のみ	東京工業大学
12月22日(木)	北陸支部主催講演会「自然言語処理の応用研究-誤り文の言語処理を中心に-」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			金沢市角間町
12月22日(木)	第3回バイオ情報学研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO3.html	10月21日(金)	当日のみ	東京大学医科学研究所
12月23日(金)	第63回 音楽情報科学研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS63.html	10月21日(金)	当日のみ	大垣市情報工房 スイックホール
2006年				
	平成17年度情報処理学会長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h17boshu.html	1月20日(金)		

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
1月12日(木)～	第171回自然言語処理研究発表会	10月31日(月)	当日のみ	国立国語研究所
1月13日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL171.html			
1月13日(金)	第117回ヒューマンインタフェース研究発表会	11月11日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI117.html			
1月16日(月)～	第57回プログラミング研究発表会	11月16日(水)	当日のみ	産業技術総合研究所
1月17日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO57.html			
1月19日(木)～	第152回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	10月31日(月)	当日のみ	大阪大学
1月20日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM152.html			(吹田キャンパス)
1月20日(金)	第18回高品質インターネット研究発表会	11月4日(金)	当日のみ	仙台国際センター
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI18.html			
1月20日(金)	第104回アルゴリズム研究発表会	11月20日(日)	当日のみ	慶應義塾大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL104.html			矢上キャンパス
1月23日(月)～	2006インターネット応用国際会議(SAINT2006)	7月1日(金)		アメリカ
1月27日(金)	http://www.saintconference.org/			(アリゾナ州フェニックス)
1月24日(火)	第158回計算機アーキテクチャ研究発表会(SHINING 2006)	11月14日(月)	当日のみ	早稲田大学理工学部
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC158.html			
1月24日(火)～	Asia and south Pacific Design Automation Conference 2006			パシフィコ横浜
1月27日(金)	(ASP-DAC2006)			
	http://www.aspdac.com/aspdac2006/			
1月26日(木)～	第138回データベースシステム・第58回グループウェアと	11月25日(金)	当日のみ	吾妻屋シーサイド
1月27日(金)	ネットワークサービス・第13回放送コンピューティング研究			ホテル(和歌山県加太
	グループ合同研究発表会			温泉)
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS138GN58.html			
1月27日(金)	第69回人文科学とコンピュータ研究会発表会	11月21日(月)	当日のみ	国立教育政策研究所
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH69.html			目黒庁舎
2月9日(木)～	第4回バイオ情報学研究会	12月28日(水)	当日のみ	北海道大学高等教育機
2月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO4.html			能開発総合センター
3月2日(木)～	インタラクション2006	10月26日(水)一般講演		学術総合センター/
3月3日(金)	http://www.interaction2006.jp/	12月14日(水)インタラクティブ発表		一橋記念講堂
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム			工学院大学
	(記念シンポジウム)			新宿キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			
3月7日(火)～	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム			工学院大学
3月9日(木)	(記念展示会)			新宿キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			
3月7日(火)～	第68回全国大会(学会創立45周年記念大会)			工学院大学
3月10日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/			新宿キャンパス
3月13日(月)～	第2回ネットワーク生態学シンポジウム	12月3日(土)	2月20日(月)	関西学院大学
3月14日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0603.html			
3月16日(木)～	第95回情報システムと社会環境研究発表会	12月16日(金)	当日のみ	専修大学神田
3月17日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS95.html			キャンパス
3月29日(水)	第40回分散システム/インターネット運用技術研究発表会	1月20日(金)	当日のみ	熊本大学黒髪キャンパ
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM40.html			ス(南)工学部百周年
				記念館
5月9日(火)～	7th International Conference on Mobile Data Management(MDM2006)			奈良新公会堂
5月12日(金)	http://www.mdm2006.kddilabs.jp/			
7月13日(木)～	2nd International Conference on Collaboration Technologies			筑波大学
7月14日(金)	(CollabTech 2006)			
	http://www.collabtech.org/			
9月5日(火)～	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学
9月7日(木)				
10月11日(水)～	The 3rd International Conference on Mobile Computing			イギリス
10月13日(金)	and Ubiquitous Networking(ICMU2006)			(ロンドン大学)
	http://www.icmu.org/icmu2006			
10月23日(月)～	International Workshop on Security(IWSEC2006)			京都
10月24日(火)	http://www.iwsec.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月14日 人材募集情報(10月)更新しました
- 10月12日 IT Text シリーズ「インターネットプロトコル」新刊のお知らせ
- 10月3日 創立45周年記念DVD予約申込受付開始

[学会からのお知らせ]

- 10月19日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 10月3日 平成18年度代表会員候補者募集
- 10月3日 平成17年度業績賞・長尾真記念特別賞候補者推薦募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金4,000円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■山梨英和大学人間文化学部人間文化学科

募集人員 教授または助教 1名
専門分野 図書館学
担当科目 基礎情報検索, 情報検索論, 情報検索演習, データベース論, 資料組織概説, 資料組織演習ほか
応募資格 図書館学を専門とする方。大学院博士課程または修士課程修了またはこれと同程度以上の学歴あるいは業績を有すると認められる方。教育歴を有する方。採用時に満35歳以上50歳くらいまでの方
着任時期 平成18年4月1日
提出書類 履歴書(所属学会を明記), 業績リスト(各業績の200字程度の概要, 論文のコピーもしくは著書を3点程度添付)
応募締切 平成17年11月24日(必着)
送付先 〒400-8555 山梨県甲府市横根町888 山梨英和大学 学長 木田献一 「教員公募書類在中」(情報)と朱書き簡易書留
*著書以外の応募書類は原則として返却いたしません
照会先 庶務課 E-mail:syomu@y-eiwa.ac.jp Tel(055)223-6020
その他 書類選考後, 面接を実施します

■京都教育大学教育学部産業技術科学科

募集人員 助教または講師 1名
専門分野 情報学(計算機とネットワークの動作原理に詳しいことが望ましいが, 下記の職務内容および担当科目を担当できれば専門分野は特に問わない)
職務内容 学部および大学院の授業を担当, かつ大学院における研究指導など。全学を対象とした, 初等・中等教育における情報倫理, 情報リテラシー教育, 情報処理センターの管理・運営(含全学ネットワーク)
担当科目 学部:「情報システム論」, 「情報ネットワーク論」, 「情報機器の操作」, 「中等情報科教育」など
大学院:「情報学特論」, 「情報学特別演習」など。
応募資格 採用予定日において, 55歳以下の方。修士以上の学位を有することまたはそれと同等の業績を有すること
着任時期 平成18年4月1日(予定)
提出書類 履歴書(本人自署押印, 写真(裏面に氏名記載)貼付, 所属学会および社会的活動も記載), 研究業績リスト(著書, 論文, 学会発表, その他に分類した研究業績リスト), 主要業績の提示(著書・論文5点についての現物または別刷(コピー可)を提示し, 200字程度の要旨を添付), 「応募の動機と本学での教育に関する抱負」について述べたもの(A4用紙, 様式自由, 2000字程度)
応募締切 平成17年11月30日(17:00必着)
送付先 〒612-8522 京都府京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学総務課人事第一係
「情報学応募書類在中」と朱書き必ず簡易書留など(送付先で受領の確認できる郵便または宅配便)
照会先 産業技術科学科 主任 土屋英男 問合せは, 文書(封書)またはE-mail:tsuchiya@kyokyo-u.ac.jpに限る
本学Webページ(<http://www.kyokyo-u.ac.jp/KOUHOU/saiyou/saiyou.htm>)を参照ください

■会津大学

- 募集人員 (a)教授 1名 (IST05002) (b)教授 1名 (CS05003) (c)講師 1名 (CS05004) (d)講師 1名 (CS05005)
(e)助教授 1名 (CS05006) (f)助教授または講師 1名 (CS05007)
- 所 属 (a)情報センター (b)性能評価学講座 (c)情報システム学講座 (d)情報基礎論講座 (e)数理情報科学講座
(f)性能評価学講座
- 応募資格 詳細はWebページ (http://www.u-aizu.ac.jp/official/positions/posi01_j.html)を参照ください
- 応募締切 詳細はWebページ (http://www.u-aizu.ac.jp/official/positions/posi01_j.html)を参照ください
- 照 会 先 (a) E-mail:ist05002@u-aizu.ac.jp (b) E-mail:cs05003@u-aizu.ac.jp (c) E-mail: cs05004@u-aizu.ac.jp
(d) E-mail:cs05005@u-aizu.ac.jp (e) E-mail:cs05006@u-aizu.ac.jp (f) E-mail: cs05007@u-aizu.ac.jp
- そ の 他 (a)～(f)まで、書類はすべて英文で提出してください

■工学院大学情報学部情報デザイン学科

- 募集人員 助教授または講師 1名
- 専門分野 CG, アニメーション
- 担当科目 コンピュータグラフィクス, アニメーション理論, オブジェクト指向設計論, Webデザイン論など
- 応募資格 年齢30～40歳前後、博士の学位を有するか、あるいは実務経験があり同等以上の実力を有する方。また平成18年3月までに取得見込みの方も可。活発に研究を行い、かつ学生の教育に熱心にかかわっていただける方
- 着任時期 平成18年4月1日
- 提出書類 履歴書、研究業績リスト(論文・著書など)とこれまでの研究の概要、主要論文別刷、推薦書1通
- 応募締切 平成17年12月1日
- 送付先/照会先 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 工学院大学工学部情報工学科 椎塚久雄 E-mail:shiizuka@cc.kogakuin.ac.jp
Tel(03)3340-2971 Fax(03)3348-3486
- そ の 他 【選考方法】書類審査を通過された方には面接(プレゼンテーションも含む)を実施させていただきます

■近畿大学産業理工学部電気通信工学科

- 募集人員 教授、助教授または講師 2名
- 専門分野 (a)知能情報工学 (b)電子情報工学
- 応募資格 博士の学位を有する方(着任時までに取得も可)。教授は博士後期課程で研究指導のできる原則50歳くらいまでの方
- 着任時期 平成18年4月1日
- 提出書類 履歴書(連絡先、E-mailアドレス、学位、学歴、職歴、所属学会、教育歴、社会貢献)、教育と研究についての抱負(各A4用紙1枚800字程度)、研究業績リスト(著書、論文誌、国際学会(査読付き)、紀要、特許などに分類表示のこと)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)
- 応募締切 (a)、(b)分野とも平成17年12月12日(必着)
- 送付先/照会先 〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6 近畿大学産業理工学部電気通信工学科 学科長 五反田博
E-mail:gotanda@fuk.kindai.ac.jp TEL(0948)22-5655 「知能情報」または「電子情報」と朱書き簡易書留か宅配便
*応募書類は返却いたしません。あらかじめご了承ください
- そ の 他 詳細は本学Webページ (<http://www.fuk.kindai.ac.jp/accept> または <http://jrecin.jst.go.jp/>)を参照ください

■呉工業高等専門学校電気情報工学科

- 募集人員 助手 1名
- 専門分野 ネットワーク工学, OS, 暗号理論, 量子情報通信工学などの情報工学に関する分野
- 応募資格 年齢が30歳以下の方、博士の学位を有する方、高専教育に熱意のある方、情報に関する資格を有することが望ましい
- 着任時期 平成18年4月1日
- 提出書類 履歴書、著書・論文リストなど、主要な著書・論文の別刷(コピー可)および概要、科学研究費補助金などの取得状況、研究成果および教育実績(1000字程度)ならびに着任後の教育・研究に対する抱負(1000字程度)、推薦書、健康診断書(面接時持参)所定様式をWebページ (<http://www.kure-nct.ac.jp>)よりダウンロードする
- 応募締切 平成17年12月12日(必着)
- 送 付 先 〒737-8506 広島県呉市阿賀南2-2-11 呉工業高等専門学校庶務課人事係 Tel(0823)73-8405
- 照 会 先 郵送の場合は「電気情報工学科教員応募」と朱書き簡易書留
電気情報工学科主任 教授 植田義文 E-mail:ueda@kure-nct.ac.jp Tel(0823)73-8470 Fax(0823)73-8474

■電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科

募集人員 助教授 1名
 所 属 科学技術コミュニケーション学講座
 専門分野 インタラクティブシステム, 具体的にはウェアラブルインタフェース, ノンバーバル・五感インタフェース, など人とコミュニケーション機器とのインタフェース技術に関する分野
 担当科目 インタラクティブシステム, その他学科専門基礎科目, 実験, 演習などを予定
 応募資格 博士の学位を有すること, 上記の分野に業績を有し, 教育および研究に熱意があること, 年齢は40歳前後以下であること
 着任時期 平成18年4月1日以降できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(次のように区分:(1)著書, (2)学術論文, (3)国際会議, (4)その他として, 賞, 特許, 外部資金獲得状況など), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 教育・研究に関する着任後の抱負(A4用紙2枚程度), 応募者本人に関する所見を得ることができる方4名程度(国内外それぞれ2名程度)の氏名と連絡先(住所, 電話番号, E-mailアドレスなど)
 応募締切 平成17年12月26日(必着)
 送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科 学科長 大鋸 順
 「科学技術コミュニケーション学講座 インタラクティブシステム助教授応募書類在中」と朱書き書留郵便
 *応募書類は返却いたしませんので, あらかじめご了承ください
 照 会 先 人間コミュニケーション学科 教授 中嶋信生 E-mail:n.nakajiam@hc.uec.ac.jp Tel(0424)43-5551 Fax(0424)43-5565
 そ の 他 学科紹介のWebページ (<http://www.hc.uec.ac.jp/>)

■電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科

募集人員 助教授 1名
 所 属 社会コミュニケーション学講座
 専門分野 複雑システムの数理モデル化と解析を通じた, 情報工学または情報科学の分野で, 人間の知的活動やコミュニケーション, 生命現象や社会現象などの研究. たとえば, 人工生命, 知能情報学, ネットワーク生態学など
 担当科目 情報理論, アルゴリズムとデータ構造, その他情報系基礎科目, 学生実験, 演習などを予定
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院を担当できること, 上記の分野に業績を有し, 教育および研究に熱意があること
 着任時期 平成18年4月1日, または, それ以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(区分: 著書, 学術論文, 国際会議, その他として賞, 特許, 外部資金獲得状況など), 主要論文別刷(5編程度, コピーの場合はA4用紙), 教育・研究に関する着任後の抱負(A4用紙2枚程度), 応募者本人に関する所見を得ることができる方4名程度(国内2名程度, 国外2名程度)の氏名と連絡先(住所, 電話番号, E-mailアドレス, 所属, 職名など)
 応募締切 平成17年12月26日(必着)
 送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科 学科長 大鋸 順
 「社会コミュニケーション学講座 複雑系数理モデル助教授応募書類在中」と朱書き書留郵便
 *応募書類は返却いたしませんので, あらかじめご了承ください
 照 会 先 人間コミュニケーション学科 教授 吉浦 裕 E-mail:yoshiura@hc.uec.ac.jp Tel(0424)43-5517 Fax(0424)43-5566
 そ の 他 学科紹介のWebページ (<http://www.hc.uec.ac.jp/index.html>)

■電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科

募集人員 助教授 1名
 専門分野 3Dコンピュータグラフィックスの分野, たとえばレンダリング, アニメーション, VRなど
 担当科目 CGプログラミング, 画像情報処理, その他関連科目, 学生実験など
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院教育の担当ができること, 上記の専門分野で顕著な業績を有し, 教育および研究に熱意があること, コンテンツ制作との連携を行うことができる方
 着任時期 平成18年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙2枚程度), 応募者本人に関する所見を得ることができる方, 国内国外それぞれ2名程度の氏名と連絡先(住所, 電話番号, E-mailアドレスなど)
 応募締切 平成17年12月26日(必着)
 送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科 学科長 大鋸 順
 「メディアコミュニケーション学講座 3Dコンピュータグラフィックス助教授応募書類在中」と朱書き書留郵便
 *応募書類は返却いたしません
 照 会 先 人間コミュニケーション学科 兼子正勝 E-mail:kaneko@hc.uec.ac.jp Tel/Fax(0424)43-5536
 そ の 他 学科紹介のWebページ (<http://www.uec.ac.jp/info/>)

■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 教授 1名
専門分野 情報メディア学に関する専門分野：メディアネットワーク専攻は情報メディア学および情報通信システム学の2講座で構成されている。メディア創生学研究室は情報メディア学講座に属し、特に画像、映像など情報メディアの生成、変換、表現に関する教育と研究を行うことを目的としている

担当科目 研究科では、メディアネットワーク専攻においてメディア創生学特論の講義とメディアネットワーク特別演習、メディアネットワーク特別研究第一・第二を担当する。学部では、情報工学科においてコンピュータグラフィックスの講義、情報工学演習、情報工学実験、情報工学ゼミナールの指導を分担する。また、全学教育科目としての教養科目（情報学Ⅰ、情報学Ⅱ、一般教育演習など）、基礎科目（物理学など）を分担する。さらに、平成17年度設置の情報エレクトロニクス学科においてサイバーコミュニケーション、コンピュータグラフィックスの講義、メディアネットワーク演習、メディアネットワーク実験、科学技術英語演習の指導を分担する

応募資格 博士の学位を有し、教育および研究に積極的であり、学生の指導に熱意のある方

着任時期 平成18年3月1日以降のできるだけ早い時期（予定）

提出書類 履歴書（本籍、現住所、連絡先（電話番号、E-mailアドレス）、学歴（高等学校卒業以降）、職歴、学位、所属学会、賞罰を記入）、業績リスト（査読付き論文、その他の論文、国際会議など発表論文、著書・総説、解説に分類して記載すること。また、受賞、学会活動、従事した研究プロジェクト（科学研究費を含む）、その他の社会貢献などに区分して記載すること。ただし、査読付き論文のうち可能なものについては、インパクトファクタおよび被引用数を付加すること）、代表的論文および総説の別刷（5編程度、コピー可）各12部、科学研究費補助金などの競争的研究資金取得状況、現在までの教育・研究歴と教育・研究業績の概要（2000字程度）、将来の教育・研究に対する抱負と展望（2000字程度）、応募者について参考意見を伺える方2名（氏名、所属、電話番号、Fax番号）

応募締切 平成17年12月28日（必着）

送付先 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8 北海道大学工学研究科情報科学研究科工学部総務課人事係 Tel(011)706-6156

照会先 情報科学研究科メディアネットワーク専攻情報メディア学講座 山本 強 E-mail:yamamoto@ist.hokudai.ac.jp
Tel(011)706-6529 Fax(011)716-8427 郵送の場合は「情報メディア学講座教員応募書類（No.17-23）」と朱書き書留
*応募書類は原則として返却いたしません

■岐阜大学工学部応用情報学科

募集人員 教授または助教授 1名

所属 情報基礎講座

専門分野 理工系の情報関係分野

応募資格 上記専門分野に業績があり、博士の学位を有すること

着任時期 平成18年4月1日（予定）

提出書類 履歴書、研究業績リスト、論文別刷（コピー可）、科学研究費などの外部資金の獲得状況、研究分野およびこれまでの研究内容（2000字程度）、これからの教育と研究の抱負（1000字程度）、健康診断書、照会可能な方2名の氏名と連絡先

応募締切 平成18年1月10日（必着）

送付先／照会先 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部 応用情報学科長 室 政和
「応用情報学科（情報基礎講座）教員応募」と朱書き書留または簡易書留
E-mail:muro@cc.gifu-u.ac.jp Tel(058)293-3042

■九州工業大学情報工学部システム創成情報工学科

募集人員 教授 1名

専門分野 システム創成情報工学の発展に貢献できる情報系を専門とする方（不明なときはお問い合わせください）

担当科目 学部における数学基礎科目（解析学、線形代数、微分方程式など）と大学院における研究対象領域（情報系）に関連した専門科目

応募資格 数学教育に熱意のある方。教育研究の対象として現実的な応用を意識している方、あるいはそれらの業績がある方。学部においては数学基礎教育科目の講義を担当し、大学院情報工学研究科の専門分野の教育・研究を担当できる方。経験、性別、国籍は問わない

着任時期 平成18年4月1日以降なるべく早い時期を希望

応募締切 平成18年1月10日

提出書類 履歴書、これまでの教育と研究の業績概要、研究業績リスト、主要論文別刷（5編）、主要論文要旨（各200字程度、共著の場合担当部分を明記）、推薦書または応募者についての照会先の氏名（2名）・今後の教育と研究に対する抱負（A4用紙、各1枚）

送付先／照会先 〒820-8502 福岡県飯塚市大字川津680-4 九州工業大学情報工学部システム創成情報工学科 学科長 廣瀬英雄
E-mail:hirose@ces.kyutech.ac.jp Tel(0948)29-7711 Fax(0948)29-7709 「教員選考応募書類在中」と朱書き書留

じんもんこん 2005

IPSJ SIG Computers and the Humanities Symposium 2005

人文科学と コンピュータ シンポジウム

デジタルアーカイブ—その理念の深化と技術の応用

歴史情報
地理情報
文学・芸術情報
モーションデータ
画像・映像データベース
ヒューマンインタフェイス
デジタル文書標準化
セキュリティ／課金技術
レファレンスサービス
情報検索
自然言語処理
オントロジー
ターミノロジー
シソーラス
メタデータ
デジタル図書館／博物館
保存科学
知的財産権
立体形状・色彩処理
評価方法
教育利用
管理・運用面での課題・事例

<実行委員長>

馬場 章 (東京大学情報学環)

<会期>

2005 年 12 月 16 日 (金) ・ 17 日 (土)

<会場>

東京大学大学院医学系研究科鉄門記念講堂他

<懇親会日時>

2005 年 12 月 16 日 (金) 18 : 30 ~ (東京大学山上会館)

<共催>

東京大学大学院情報学環 / 21 世紀 COE

「次世代ユビキタス情報社会基盤の形成」

<後援>

(社) 電子情報通信学会 日本アーカイブズ学会 記録管理学会

日本情報考古学会 アート・ドキュメンテーション学会

情報知識学会 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

<参加申込先>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

社団法人 情報処理学会 調査研究 研究部門

E-mail: sig@ipsj.or.jp

TEL : (03) 3518-8372 / FAX : (03) 3518-8375

<参加費>

正会員 5,000 円

一般 7,000 円

学生 3,000 円

<問い合わせ先>

じんもんこん 2005 実行委員会事務局

chs05@chi.iii.u-tokyo.ac.jp

<http://chi.iii.u-tokyo.ac.jp/jinmonkon2005/>

情報処理学会 第 68 回全国大会
[大会スローガン：未来を拓く情報学]
一般・学生セッション、デモセッション
講演募集案内

【会期】2006年3月7日(火)～10日(金)

【会場】工学院大学 新宿キャンパス
 (東京都新宿区西新宿 1-24-2)

第 68 回全国大会ホームページ
<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/>

情報処理学会では、第 68 回全国大会の一般・学生セッション、デモセッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回 1,000 件を越える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。

【募集分野】

以下の分野で募集を行います。
 詳しくは第 68 回全国大会ホームページをご覧ください。

1. アーキテクチャ
2. ソフトウェア科学・工学
3. 人工知能と認知科学
4. データベースとメディア
5. ネットワーク
6. インタフェース
7. コンピュータと人間社会

【講演募集内容と使用言語】

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

【講演申込資格】

申込種別	資格
一般セッション	不問
学生セッション	高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者
デモセッション	不問

【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】

講演申込種別	講演時間	原稿頁
一般セッション	20 分	2 頁
学生セッション	15 分	2 頁
デモセッション	1-3 日(1 日単位)	2 頁(提出任意)

【講演申込・原稿投稿日程】

講演申込・原稿投稿受付開始:平成 17 年 9 月 15 日(木)
 講演申込・修正・取消 締切日:平成 17 年 11 月 25 日(金)
 原稿投稿・差換え締切日 :平成 18 年 1 月 13 日(金)

【講演申込・原稿投稿方法】

講演申込、原稿投稿は、すべて Web を通じておこなって頂きます。
 標記の第 68 回全国大会ホームページからお願い致します。

【講演申込にあたっての注意事項】

- *講演申込締切後の申込情報変更は、一切受けません。
- *講演の代理(代読)は原則として認めません。
- *講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレス

までお願い致します。[ipsj@gakkai-web.net]

*講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くこととなりますのでご注意ください。

【講演参加費・講演論文集代(税込)】

申込種別	会員種別	費用(税込み)
一般セッション 学生セッション デモセッション	正会員	10,000円
	学生会員	6,000円
	一般非会員	25,000円
	学生非会員	15,000円
講演論文集(希望者のみ)	全種別	3,000円

*会員とは、講演者が 本会(含む入会申請中)、電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方です。講演申込締切後に入会されても講演参加費の金額変更はいたしませんのでご注意ください。

*講演参加費には、講演料、本人論文の別刷 50 部、全論文収録の CD-ROM、大会参加費が含まれます。

*講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集 1 部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。

*デモセッションは上記講演参加費で 1 日デモを行えます。従って 2 日デモを行う場合には 2 倍、3 日ならば 3 倍の講演参加費が必要となります。

*一般または学生セッションでの講演とデモセッションを行う場合には、一般または学生セッションの講演参加費とデモセッションの講演参加費それぞれが必要となります。

【表彰について】

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈いたします。なお、大会優秀賞、大会奨励賞については、当会の個人会員に限ります。

賞の種類	受賞者
大会優秀賞	全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名前後。
大会奨励賞	学部在学から卒業後 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名前後。
学生奨励賞	各学生セッションで発表された中から、優秀な発表と判断された 1 名に対して大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。

【講演機器】

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、D-sub15 ピンです。プロジェクターの解像度は、XGA(1024×768)対応となっております。

ノート PC は、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

【大会最新情報の掲載】

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、特別セッション等イベント企画の詳細等第 68 回全国大会に関する最新情報は大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

【問合せ先】

社団法人情報処理学会 事業部門
 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)



好評既刊書

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)



ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

新刊!!

ITText 分散処理

谷口 秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修・松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書 評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格
原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き
 - 1) 表 題 : 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail, Faxなど)の記載を忘れずに。
 - 3) 本 文 : 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
 - 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。
4. 原稿の取扱い
投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

■ 各種問合せ先 ■

(社)情報処理学会(本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員皆様への「情報処理学会倫理綱領」遵守のお願い

最近、残念なことに、本会の著作権規程に違反するなど学会員としてのモラルを欠くような事態が見受けられます。本会では、学会員の倫理規範である「情報処理学会倫理綱領」を以下の通り設けておりますが、会員皆様におかれましては、この機会に改めてご一読いただき、学会員としての規範を遵守くださるようお願いいたします。

情報処理学会著作権規程は次のページをご覧ください。

「情報処理学会倫理綱領」

前文

我々情報処理学会会員は、情報処理技術が国境を越えて社会に対して強くかつ広い影響力を持つことを認識し、情報処理技術が社会に貢献し公益に寄与することを願い、情報処理技術の研究、開発および利用にあたっては、適用される法令とともに、次の行動規範を遵守する。

1. 社会人として

- 1.1 他者の生命、安全、財産を侵害しない。
- 1.2 他者の人格とプライバシーを尊重する。
- 1.3 他者の知的財産権と知的成果を尊重する。
- 1.4 情報システムや通信ネットワークの運用規則を遵守する。
- 1.5 社会における文化の多様性に配慮する。

2. 専門家として

- 2.1 たえず専門能力の向上に努め、業務においては最善を尽くす。
- 2.2 事実やデータを尊重する。
- 2.3 情報処理技術がもたらす社会やユーザへの影響とリスクについて配慮する。
- 2.4 依頼者との契約や合意を尊重し、依頼者の秘匿情報を守る。

3. 組織責任者として

- 3.1 情報システムの開発と運用によって影響を受けるすべての人々の要求に応じ、その尊厳を損なわないように配慮する。
- 3.2 情報システムの相互接続について、管理方針の異なる情報システムの存在することを認め、その接続がいかなる人々の人格をも侵害しないように配慮する。
- 3.3 情報システムの開発と運用について、資源の正当かつ適切な利用のための規則を作成し、その実施に責任を持つ。
- 3.4 情報処理技術の原則、制約、リスクについて、自己が属する組織の構成員が学ぶ機会を設ける。

注

本綱領は必ずしも会員個人が直面するすべての場面に適用できるとは限らず、研究領域における他の倫理規範との矛盾が生じることや、個々の場面においてどの条項に準拠すべきであるか不明確（具体的な行動に対して相互の条項が矛盾する場合を含む。）であることもあり得る。したがって、具体的な場面における準拠条項の選択や優先度等の判断は、会員個人の責任に委ねられるものとする。

付記

1. 本綱領は平成8年5月20日より施行する。
2. 本綱領の解釈および見直しについては、必要に応じて委員会を設置する。

情報処理学会著作権規程

平成 12 年 4 月 1 日制定
平成 13 年 6 月 20 日改訂
平成 16 年 11 月 30 日改訂

情報処理学会は、研究論文等の印刷、配布又は Web 送信など、投稿者及び他の会員や社会の期待に応えるサービスを、情報処理学会の名声と権威にふさわしい質を維持しながら提供する必要がある。しかも、このサービスは将来予想される新技術や会員/社会のニーズの変化に柔軟に対応しつつ、安全かつ継続して提供できねばならない。

そのためには、情報処理学会が自己の名義の下で公表する著作物の著作権に関する取り扱いを明確にする必要がある。この規程ではかかる著作物の著作権を情報処理学会に譲渡してもらうことを原則とするものの、それによって著者ができるだけ不便を被らないよう配慮する。

(この規程の目的)

第 1 条 この規程は、本学会に投稿される論文等（本学会発行の出版物に投稿される論文、解説記事等及び本学会に投稿される研究報告、シンポジウム・全国大会・本学会が主催又は共催する国際会議などの予稿、プロシーディングス原稿等を含む。以下あわせて論文等という。）に関する著作者・投稿者（以下あわせて「著作者」という。）の著作権の取り扱いに関して取り決めるものである。

(著作権の帰属)

第 2 条 本学会に投稿される論文等に関する国内外の一切の著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定するすべての権利*を含む。以下同じ。）は本学会に最終原稿が投稿された時点から原則として本学会に帰属する。

2. 特別な事情により前項の原則が適用できない場合、著作者は投稿時にその旨を投稿窓口あてに文書にて申し出るものとする。その場合の著作権の扱いについては著作者と本学会との間で協議の上措置する。

3. 本学会の出版物に投稿された論文等が本学会の出版物に掲載されないことが決定された場合、本学会は当該論文等の著作権を著作者に返還する。

(不行使特約)

第 3 条 著作者は、以下各号に該当する場合、本学会と本学会が許諾する者に対して、著作者人格権を行使しないものとする。

- (1) 翻訳及びこれに伴う改変
- (2) 電子的配布に伴う改変
- (3) アブストラクトのみ抽出して利用
- (4) 前各号の他の利用に伴う改変

(第三者への利用許諾)

第 4 条 第三者から著作権の利用許諾要請があった場合、本学会は本学会理事会において審議し、適当と認めたものについて要請に応ずることができる。また、利用許諾する権利の運用を理事会の承認を得て外部機関に委託することができる。

2. 前項の措置によって第三者から本学会に対価の支払いがあった場合には、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

(著作者の権利)

第 5 条 本学会が著作権を有する論文等の著作物を著作者自身がこの規程に従い利用することに対し、本学会はこれに異議申し立て、もしくは妨げることをしない。

2. 著作者が著作物を利用しようとする場合、著作者は本学会に事前に申し出を行った上、本学会の指示に従うとともに利用された複製物あるいは著作物中に本学会の出版物にかかる出典を明記することとする。ただし、元の論文等を 25% 以上変更した場合には、この限りではない。また、3 項、5 項にかかわる利用に関しては事前に申し出ることなく利用できる。

3. 論文等のうち、本学会が査読の上論文誌（ジャーナル及びトランザクション。以下同じ。）への採録を決定して最終原稿を受領したもの及び会誌記事については、著作者は他の学会に投稿することはできない。なお、論文等のうち、研究報告、シンポジウム予稿、全国大会予稿、国際会議予稿、及びプロシーディングス原稿（以下「研究報告等」という。）については、研究の途中成果とみなし、著作者が当該研究報告等を研究の最終成果物とするため他学会等へ投稿する（以下「論文文化投稿」という。）ことに対して、本学会は本学会が著作権を保有していることを理由に著作者および他学会等に対し異議申し立てを行わない。

4. 著作者が論文文化投稿をするにあたり、著作権の返還を本学会に申請した場合、本学会は、当該著作者の申請が正当な理由によるも

のと認めるときは、当該研究報告等の著作権を著作者に返還する。ただし、当該著作者は、当該研究報告等に関し、本学会の運営上必要となる事項（第三者への複製許諾、学会が作成する Web サイト、CD-ROM 等への論文掲載等）を本学会が継続して実施できるよう、本学会に対して当該研究報告等にかかる著作権の利用許諾を行うものとする。なお、当該利用許諾については投稿先の学会等に事前に通知するものとし、本学会へ利用許諾を行ったことにより投稿先の学会等との間に紛争が生じた場合は、本学会は当該著作者と協力して、解決を図るものとする。

5. 著作者は、投稿した論文等について本学会の出版物発行前後にかかわらず、いつでも著作者個人の Web サイト（著作者所属組織のサイトを含む。以下同じ。）において自ら創作した著作物を掲載することができる。ただし、掲載に際して「情報処理学会倫理綱領」に則ること、ならびに本学会の出版物にかかる出典（当該出版物が発行された場合）及び利用上の注意事項**を明記しなければならない。

(例外的取り扱い)

第 6 条 他の学会等との共催行事に投稿される論文等の著作権について別段の取り決めがあるときは、前各条にかかわらず、当該取り決めがこの規程に優先して適用されるものとする。

(著作権侵害および紛争処理)

第 7 条 本学会が著作権を有する論文等に対して第三者による著作権侵害（あるいは侵害の疑い）があった場合、本学会と著作者が対応について協議し、解決を図るものとする。

2. 本学会に投稿された論文等が第三者の著作権その他の権利及び利益の侵害問題を生じさせた場合、当該論文等の著作者が一切の責任を負う。

(発効期日)

第 8 条 この規程は平成 12 年 4 月 1 日に遡って有効とする。なお、平成 12 年 4 月 1 日より前に投稿された論文等の著作権についても、投稿者から別段の申し出があり、本学会が当該申し出について正当な事由があると認めた場合を除き、この規程に従い取り扱うものとする。

*以下の権利を含む：

複製権（第 21 条）、上演権及び演奏権（第 22 条）、上映権（第 22 条の 2）、公衆送信権等（第 23 条）、口述権（第 24 条）、展示権（第 25 条）、頒布権（第 26 条）、譲渡権（第 26 条の 2）、貸与権（第 26 条の 3）、翻訳権、翻案権等（第 27 条）、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利（第 28 条）。

**利用上の注意事項の例：

ここに掲載した著作物の利用に関する注意
本著作物の著作権は（社）情報処理学会に帰属します。本著作物は著作権者である情報処理学会の許可のもとに掲載するものです。ご利用に当たっては「著作権法」ならびに「情報処理学会倫理綱領」に従うことをお願いいたします。

Notice for the use of this material

The copyright of this material is retained by the Information Processing Society of Japan (IP SJ). This material is published on this web site with the agreement of the author (s) and the IP SJ. Please be complied with Copyright Law of Japan and the Code of Ethics of the IP SJ if any users wish to reproduce, make derivative work, distribute or make available to the public any part or whole thereof.

All Rights Reserved, Copyright (C) Information Processing Society of Japan.

Comments are welcome. Mail to address editj@ipsj.or.jp, please.

ご意見をお寄せください!

【12月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4611.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2005年11月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 特集: 新世代マイクロプロセッサアーキテクチャ (後編)
- 2.1 省電力とプロセッサ 10-1-
 - 2.2 信頼性・安全性とプロセッサ 10-2-
 - 2.3 命令セットアーキテクチャとマイクロアーキテクチャ 10-3-
 - 2.4 コンパイラとマイクロプロセッサ 10-4-
 - 3.1 Niagara: 32 ウェイマルチスレッド SPARC プロセッサ 10-5-
 - 3.2 Cell Broadband Engine のアーキテクチャ 10-6-
 - 3.3 ユビキタス・コンピューティング時代の組み込みマイクロコンピュータ, SuperH と M32R 10-7-
 - 3.4 動的再構成プロセッサ (DRP) 10-8-
- 私の情報整理術: ストレスフリーの仕事術 10-9-
- 認知障害者を支援するソシオテクニカル環境 10-10-
- Haskell プログラミング: ペンシルパズルを解く 10-11-
- 情報技術と医療: ゲノム医療における情報技術の役割 10-12-
- アメリカ IT まわりの話題: ソフトウェア製造業 10-13-
- 欧州の IT 技術とビジネス: 雇用機会に見る欧州 IT 10-14-
- 日本の IT 事情: 情報の周辺・周辺の情報 (7) 朝日新聞虚偽報道と電子メールの危うさについて 10-15-
- 20 世紀の名著名論: Edward H. Shortliffe: Computer-Based Medical Consultations: MYCIN 10-16-
- 20 世紀の名著名論: Peter J. Denning: The Working Set Model for Program Behavior 10-17-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

前号に引き続いて、マイクロプロセッサアーキテクチャの特集をいたします。今回は、新しいデザインバランスと実例についてまとめてみました。

Intel 社には最後まで本特集に加わるべくご尽力いただきましたが、米国本社での相談の結果、現段階では Many-Core について技術的詳細を述べるのはむずかしいということになりました。たいへん残念ですが、時期が来次第、本誌でしっかり紹介していきたいと考えます。チップマルチプロセッサ（マルチコア）については、前号の安藤先生の記事、今号の Niagara や Cell の記事などをお読みいた

だければ、と思います。

国際水平分業という言葉が当たり前になり、米国をはじめ先進国で IT 関係のホワイトカラー技術者が失業するという過酷な現象が見られます。マイクロプロセッサの世界でも、用途は細分化しつつ少数のアーキテクチャに統合されてきました。次世代のヘゲモニーを獲得するために、大胆かつ細心の試みが必須なことはいまさら言を俟たないことでしょう。

(坂井修一／本特集エディタ)

次号 (12 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」医療のためのデジタルヒューマン技術

ボクセル表現を用いた人体機能・構造モデル／インシリコ・ヒューマン／腰椎モデルと屍体実験の補完的連携／リハビリ向けの歩行シミュレーション／人体 FEM モデルによる衝突時の頸部傷害予測／VR 手術支援・手術ロボットの開発動向／患者の物理・心理・生理モデルー VR と情報処理／予防医療のための乳幼児行動モデル

解説

情報技術関連スキル標準..... 大原茂之 他

連載 Haskell プログラミング

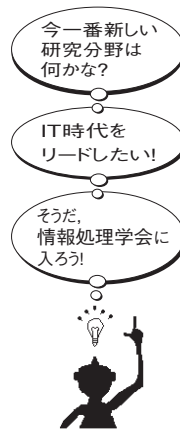
コラム アメリカ IT まわりの話題／情報技術と医療／20 世紀の名著名論／日本の IT 事情／私の情報整理術

会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依託>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

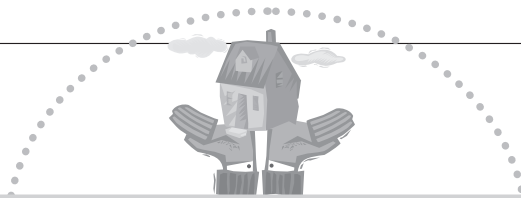
■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (15口以上)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

●●● 賛助会員 (10～14口)



NTTコムウェア
NTTコムウェア(株)



日本アイ・ビー・エム(株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所



富士通(株)

Microsoft

マイクロソフト(株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機(株)

(株) NTT ドコモ / (株) 東芝

日本電気(株) / 日本電信電話(株) / 船井電機(株)

●●● 賛助会員 (3～5口)

OKI

沖電気工業(株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

松下電器産業(株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWeb ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375